運転するときは

個人差がありますが、加齢に伴い体力、視力、聴力、平衡感覚等が低下すると、運転操作に影響を及ぼします。交通事故防止のためには、自分の身体能力を自覚して、その能力に応じた運転行動を取ることが重要です。

○ まずは交通ルールを守ろう！
安全運転の基本は交通ルールを守ることです。
一時停止や最高速度等の標識や標示を見落とさないようにして、ルールを守って運転しましょう。

○ 顔を動かして安全確認を！
顔を動かすことで、確認できる範囲が広がり、歩行者や他の車の動き、信号機等を、より目元で捉えやすくなる、見落としの危険が少なくなります。

○ 交差点では特に注意しましょう！
一時停止や十分な減速、安全確認を行い、車、自転車、歩行者を見落とさないようにしましょう。

○ 慎けよう！シートベルト、ヘルメット！
車に乗る時は、後部座席も含め、全席シートベルトを着用しましょう。
二輪車に乗る際には、ヘルメット着用、あごひもをしっかり締めましょう。

○ 横断歩道は、歩行者優先！
信号機のない横断歩道を横断しようとしている歩行者がいる時は、横断歩道の前で、停止しなければなりません。
また、横断歩道を横断中の歩行者の通行を妨げてはいけません。

○ 高齢者マークをつけましょう！
70歳以上の方が、自動車を運転するときは、高齢運転者標識（高齢者マーク）をつけましょう。

○ 自転車に乗るときは
鹿児島県自転車条例により、自転車利用者の乗車中のヘルメット着用が努力義務となっています。
ヘルメットを正しく着用しましょう。
自転車は車両の仲間です。
車道で通行する時は、必ず左側を通行し交差点では、減速、一時停止をして、安全を確認しましょう。

補償運転を実践しましょう
補償運転とは、危険を避けるために、運転環境の良い時間や場所を自ら選択することで、加齢に伴う運転技能の低下を補う運転方式をいいます。
「体調が良い時に運転する」「明るい時間帯だけ運転する」「決まった範囲だけ運転する」など自然ルールを定め、自分に合った補償運転を心掛けましょう。

ドライブレコーダーを活用しましょう
自分の運転状況をドライブレコーダーに記録し、後から自分や家族と確認することで、運転の悪い癖や以前との変化に気づくことができます。
警察署でもドライブレコーダーの無料レンタルを実施しています。
レンタル期間：おおむね1週間
対象者：高齢ドライバーとその家族
問い合わせ先：各警察署交通課

安全運転サポート車の利用
安全運転サポート車は、追突しそうになった時や車線をはみ出そうになった時、警報音で知らせてくれたり、自動でブレーキを作動するなどして、危険を回避する手助けをします。
車の使い方をされる際に、このような機能がある車を選んでみてはいかがでしょうか。
ただし、安全運転サポート車が全ての事故を防いでくれるという訳ではありませんので、安全運転の意識を忘れていけません。

運転免許の自主返納
運転免許の自主返納を検討された方は、警察署や免許センター等で手続きができます。
運転免許を自主返納することで、地域によって異なりますが、タクシー運転の制限等の優遇措置を受けられます。
手続きや優遇措置の詳細は各警察署にお問い合わせください。